

令和 5 年 7 月 24 日

報道機関 各位

将来の教員を志す鳥取県の高校生 120 名が、
島根大学教育学部へ体験入学【 7/31 】

◆本件のポイント！

- ・鳥取県教育委員会と島根大学が中心となって進めている「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として実施する企画。昨年が第一回だったが、オンライン実施だったため、対面式では本年度が初めてとなる。
- ・地元の山陰で教員になることを志望する高校生が、島根大学教育学部で講義などを体験。
- ・鳥取県下 8 校から、120 名もの高校生が参加予定。
- ・Google Classroom を利用し、ICT を活用した企画。

◆本件の概要

令和 5 年 7 月 31 日に、「『未来の教師』育成プロジェクト」の一環として、将来の教員を志す鳥取県の高校生が、島根大学教育学部へ体験入学。学校教育におけるダイバーシティの問題を扱った本学教育学部附属教師教育研究センター・津多成輔講師の授業を受講するほか、大学教員や現役大学生との質疑なども行う。

◆概要内容

「令和 5 年度 高校生の島根大学教育学部体験入学プログラム」

- (1)日時 令和 5 年 7 月 31 日(月) 13:00~15:30
- (2)会場 島根大学教育学部(20番教室)及び松江キャンパス内
- (3)主催 鳥取県教育委員会・島根大学教育学部・山陰教師教育コンソーシアム

◆本件の連絡先

島根大学教育学部 企画・総務担当副学部長
縄田裕幸

TEL: 0852-32-6279

Mail: nawata[at]edu.shimane-u.ac.jp ※[at]は@に置き換えてください

【添付資料: あり(2 枚) なし】

「『未来の教師』育成プロジェクト」

令和5年度 高校生の島根大学教育学部体験入学プログラム

鳥取県教育委員会・島根大学教育学部・山陰教師教育コンソーシアム 共催

1 目的

(高校生)

- 島根大学教育学部の理解促進等による、教育学部進学者等の教職指向性の高い高校生の育成
- 大学の“知”に触れ、大学における学びに対する意識・意欲の向上
- 早期に教員採用試験情報を得ることによる、受験メリットの認識及び教員採用試験受験意欲の向上

(大学生)

- 教職を志望している高校生に対して、学内の案内や紹介をしたり、生徒からの質問に答えたりする中で、これまでの教職に向かう取組を振り返り、新たな気づきや学び、または課題に気づき、自分自身の成長につなげる。

2 日時 令和5年7月31日(月) 13時から15時30分まで

3 会場 島根大学教育学部(20番教室)及び松江キャンパス内

4 参加者

◆鳥取県

- 高校生：120名程度 県教委、引率教員等：若干名

拠点校	募集人数	拠点校	募集人数
鳥取東高等学校	20人	倉吉西高等学校	8人
鳥取西高等学校	20人	米子東高等学校	20人
八頭高等学校	12人	米子西高等学校	15人
倉吉東高等学校	15人	境高等学校	10人

◆島根大学

- 大学教員：河添、縄田、富澤、諸岡、津多、村尾、吉田
- 大学生：「未来の教師」育成プロジェクトサポートスタッフ20名程度

5 日程及びプログラム内容

プログラム内容	時間	概要
開会	13:00	大学等挨拶、グループ内自己紹介等
学びの体験 [メインプログラム]	13:05	講師紹介・説明等 グループワーク(事前課題に基づくグループワーク) テーマ「学校教育における性の多様性の尊重について考える」 授業者 津多 成輔 ・性的マイノリティの困難さを考える。 ・対策としてどのようなものが考えられるか。 ※タブレット等を活用した議論等を実施 関連講義 「性別二元論を土台とした「教育の効率性」の問題」 ・グループワークの活動を踏まえた講義等 ※大学入試及び教員採用試験における面接試験等の素養(理解力、判断力、表現力、課題分析力、論理的思考力、協調性等)も意識した活動の体験 ※参加した高校生が学校間の垣根を越えて交流できるプログラム
施設・設備案内	14:05	グループごとに移動
		休憩 14:40~14:50

教育学部・入試等に関する質問	14:50	事前に教育学部案内・教育学入試説明動画を視聴し、質問等を大学生や大学教授等へ行う
教採用試験情報	15:20	鳥取県教育委員会からの教員採用試験に関する情報提供
閉会	15:30	事務連絡

8 その他

○緊急時にはオンライン開催に変更、若しくは中止とする場合がある。